

はばたくことり

令和7年 1月10日
総社市立久代幼稚園

大人も子どもも食べることが好き // “好き♡”は行動の源です

昨日の参観日、来ていただきありがとうございました。行事（国際理解教育）の取り組みや選んだ遊びの様子、食育（雑煮を食べる）につながる活動を見て頂きました。雑煮会食は、「自分たちがついた餅や園で収穫した野菜（ほうれん草・大根）を食べる喜びを味わってほしい」「伝統行事に関心をもつ」を意識して行いました。

保護者の方には、食育について和気あいあいとした雰囲気の中で協議して頂きました。ちょっぴり緊張された方もいらっしゃると思います。私自身が印象に残ったことは、“皆さんが「食べることは好き」「食べることは嫌いじゃない」ということです。“好き”なことについての話だったので、身近に感じたり、活発な協議につながったりしたのでは、と思います。

“好き♡”の感情は、人が行動を起こす要因の大きな割合を占めています。特に、幼児期は安心感・興味関心（好き♡）により動いているといっても過言ではないと考えています。“食”に関するだけでなく、子ども達が“好き♡”なことや物・人にたくさん出会え、行動する・感じる・考える機会につながるよう支えていきたいと改めて強く感じました。



手本となる

- 大人（親）が美味しそうに食べてみる。
- 「美味しいよ」と言って、食べる気にさせる。
- 苦手な食べ物を美味しそうに食べる。

調理法の工夫

- 小さく刻んで料理する。
- 好きなものに混ぜる。
- レシピを変える。
- 見た目をかわいく美味しそうに工夫する。
- 好きな味付けにする。
- 味付けをしっかりとめる。

一緒に取り組む

- 料理を一緒に作る。
- 一緒におかずを作る。
- みんなで食べる。
- 幼稚園では食べられているみたいなので、ともだちがいと食べたいみたい。
- 野菜を自分で育てる。

認める

- 少しでも食べたらほめる。
- 苦手な物が食べられたらオーバーにほめる。
- 見ていない間に食べて、目を開いたら、食べれて、いっぱいほめる。

量の調整

- 一口は食べようと促す。
- 少なくしてあるから、頑張る。
- 全部じゃなくて、これだけがんばってみよう！

皆さんの協議した内容です。

お子さんが食べられないことに対応しているか

尊重

- 無理に食べさせない。
- 苦手な物は出すけど無理に食べさせない。

上記以外の考え



- 食事マナーの絵本を一緒に読んでいる。
- 外食でチャレンジさせる。
- “おいしい”と共感する。共有する。
- がんばって食べられたら好きな物おかわり OK!
- 食べたらもっとかわいくなれるよ♡と言う。

※紙面の都合上、同様の考えは、まとめさせて頂いております。2/20参観日に、すべての付箋を掲示します。

次号こそ「子どもの遊び」についてです。（3回目の予告です）